



第二つつじヶ丘学園 地元との交流会

昭和57年4月、定員30名で開園され、増床を重ね、一般棟30名、重度棟20名、通所7名、定員合計57名の知的障害者入所更正施設です。現在、別土地にチャレンジケアホーム定員8名を建設中。「明るく、楽しく、共に慌てず」をモットーに職員28名、嘱託員2名で運営。

No.25  
H22.1.31発行

議会だより



# あさぎり

**十二月定例議会**

一般会計補正予算修正可決  
特別会計補正予算可決  
条例改正

2 P

「新春あいさつ」議長

**臨時議会**

特別職・一般職・技労職の  
給与、議員の報酬改正

3 P

**一般質問**

十三名が登壇

4  
10 P

**議会活動**

町の新しい風「山の幸興社」  
常任委員会報告

10  
13 P

**町民の声**

人と人のつながりを  
駅前交差点整備事業に思う

14 P

# 第四回あさぎり町議会(十二月定例会)

## 一般会計補正予算(第四号)修正可決

一般会計補正予算(第四号)が提案され、二億四千四百四十二万円を減額修正、八千四百八十八万九千円を増額補正し、総額百六億四千三百八十万五千円に修正可決されました。

### 主な内容

- ◆定住促進事業交付金  
二百九十万円
- ◆保育所運営費負担金  
千三百二十五万千円



早苗保育園の元気な園児たち

- ◆障害介護給付費  
二千六百四十六万円
- ◆新型インフルエンザワクチン接種  
援助費  
千三百九十九万五千円



- ◆集落営農育成確保緊急整備支援事業補助金  
二百六十万円
- ◆水田地域営農体制整備支援事業補助金  
二百二十二万七千円
- ◆緑の産業プロジェクト促進事業補助金  
千二百六十八万五千円
- ◆耐震改修促進計画策定委託料  
七百二十万円

## 減額修正された主な理由

- ◆電子黒板などの予算を修正  
町長提出予算案に対し、二名の議員から教育費の減額修正予算が出され、修正案の提案理由説明の中で、今後あさぎり中学校開校に伴う整備事業を進めていかなければならない。
- 将来的に多額の予算が必要となるのが想定できる。
- 今回の教育費の施設整備費は十分な説明がなく、事業効果と将来の財政運営に疑問がある。
- 質疑討論がおこなわれて、結果、修正案が賛成多数で可決されました。

修正部分をのぞく、町長提出の原案についても、可決されました。

## 原案可決

- 国民健康保険特別会計補正予算(第三号)
- 後期高齢者医療特別会計補正予算(第一号)
- 介護サービス特別会計補正予算(第二号)
- 簡易水道事業特別会計補正予算(第四号)
- 水道事業特別会計補正予算(第二号)
- 下水道事業特別会計補正予算(第二号)
- 上財産区特別会計補正予算(第一号)
- 球磨郡障害認定審査事業特別会計補正予算(第二号)
- 球磨郡介護認定審査事業特別会計補正予算(第二号)



# 信頼される議会に

あさぎり町議会 議長 橋爪 和彦



新春を寿ぎ、町の安寧と町民各位のご多幸を心より祈念申し上げます。さて、現在敷設中の光ファイバー網は四月に供

用開始になり、インターネット環境が整います。町内小・中学校全クラスに電子黒板を設置するという、県下の市町村に先駆けた試みも決定しました。夏には、あさぎり中学校開設へ向けた工事も始まります。

こんな一見明るい話題の一方で、我が国は、一昨年に勃発した世界的な不況から脱出できていません。本町の基幹産業である農林業も農産物や木材の価格下落に苦しんでいますし、商工業もデフレの影響をまろに被り、賃金も一般的に低下傾向です。

従って、町民生活の安定を図るために必要な各種方策の実現が、町行政の今年最大の任務だと思えます。

町議会としても、幅広い政策提案を行って課せられた役割を果たせたらと考えています。

昨年は地方分権一括法の成立以降、毎年強化される地方議会の権限と責任を全うするために、

議会力と議員各自の資質の向上へ向け議会改革特別委員会を立ち上げました。

今年、町民に一番身近な行政機関として住民の方々意見を聞かせて頂くことから始め、改革を通してより信頼される議会を目指す所存です。

町民各位の遠慮のないご指導ご鞭撻を願ひ申し上げ、年頭のご挨拶と致します。

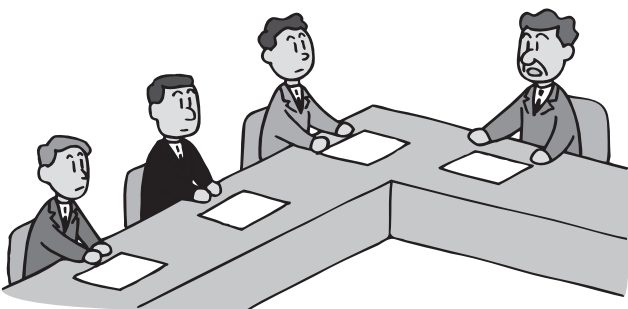


あさぎり町地域情報通信基盤整備工事起工式

## 特別職、一般職、技能職の給与 議員の報酬などを改正 三千二百万円程度の減額

### 臨時議会（第五回）

平成二十一年十一月二十七日臨時議会が開催され、特別職の給与及び旅費、教育長の給与、一般職の給与・技能労務職員給与の種類及び基準・職員の勤務時間・休暇等・議員の報酬が改正され、三千二百万円程度の減額が見込まれるという事です。



◎清願寺ダム土砂のヒ素含有は

基準値以下で安全



議員 澁田 勇一

**澁田** 県が着手した清願寺ダム堆積土砂除去の処理は。

**町長** 堆積土砂四六万九千㎡土砂は主に榎田公園に搬出他に林道敷砂利等として利用棄土する。

**澁田** 除去するのは現在の水面上部分だけなのか。

**町長** 貯水



清願寺ダム土砂搬出置き場(榎田)

利用水事業を要望していく。

**澁田** 以前土砂の中にヒ素が含有していると説明があったが、県当局の調査は済んだのか。

**町長** 県では対策検討委員会を設置、県立大学、鹿児島大学、熊本大学、九州大学の各専門教授の方々六名及び県職員によって四年かけて調査、その結果国が定めた基準値以下で安全であるとの報告があった。

◎くま川鉄道の存続・利用促進を

列車に乗る運動を展開したい



議員 山口 和幸

**山口** 地域住民の大事な生活路線である、くま川鉄道の存続・利用促進を図っていく上で、経営

**町長** 実際確認してみるとそのようなことがあっており、取締役会で不公平感を是正していきたい。

再建に向けて抜本的な取り組みをしていかなければならないが、特定の社員だけの給与の引き上げ・特段目的をもたないコンサルタント料

**山口** 人吉・球磨が一体となつて、湯前線を残した時のように学校関係・社会教育団体・老人クラブ等の地域住民の方々

にお願いをして、「くま川鉄道に乗ろう運動」を展開、そして沿線を水田等に景観作物を導入して、菜の花・あじさい・ひまわり・彼岸花・コスモスで彩ることはできないか。

**町長** 地域住民が一体となつて、列車に乗る運動を展開し、花に囲まれた沿線作りに取り組みたい。



くま川鉄道

質問が登壇

球磨が一体となつて、湯前線を残した時のように学校関係・社会教育団体・老人クラブ等の地域住民の方々





◎ 均衡発展と住宅建設は

魅力ある住宅をつくりたい



宮原盛幸議員

**宮原** 均衡発展は可能なのか。今回、須恵地区に町営住宅を建設する計画を執行部は示された。造成費用を含めて約二億円が必要とされるが、現在の厳しい財政と将来の財政規模から考えて可能なのか。もし可能ならどのような理由なのか。

**町長** 須恵地区の住宅は旧他町村と比べて人口割でみた住宅の整備率も低いし、中学校統合で非常に地域の閉塞感が強まってくるのを避けるために中学校が

なくなったときに住宅をつくらせていただく事をお願いしたい。十五戸程度の建設を進めることを理解していただきたい。

**宮原** 学校に近い方が、若い人たちは子供を教育させるのに便利である。例えば中学校に遠い須恵地区と免田川の南にある町有地に住宅があるので、後者は、後者が便利である。周辺の寂れない施策と、町民の皆様

の便利さを優先する施策はどうあるべきか。

**町長** 住宅環境は周辺が暗いとか寂しさ感があれば難しいので場所の選定は検討している。仮に須恵地区につくるにしても、中心街と比較しても魅力ある住宅をつくりたい。

『その他の質問』

※他に下水道の接続について。



魅力ある公営住宅(亀の甲住宅)

◎ 周辺部の均衡ある発展は

住宅、通学路の整備を進めたい。



岩水国昭議員

**岩水** あさぎり中学校を現上中に新設する条例案提出の際、周辺部、特に遠隔地となる須恵、深田が寂れないための施策を行うと確約された。次の点について伺いたい。須恵小学校複式学級回避の経緯は。

**教育長** 3名の生徒の増加は、地区の方々が複式解消のため働いていただいた。

**岩水** 抜本対策は。

**町長** 住宅、子供を育てる環境づくりが大事。

**岩水** 遠隔地となる深

田への町営住宅建設は。

**町長** まず、須恵地区の住宅の方向性を示したい。

**岩水** 県道小技深水線の工事が止まっているが、**町長** 県は区切りをつけている様だが、今後可能性はあるか確認していきたい。

**岩水** 県

道人吉水上線の小技、古町の歩道建設は。

**町長** 歩道の優先順位を上

げる方向で取り組みたい。

**岩水** おかどめ幸福駅周辺、古町・黒田線に街灯が必要と思うが、**総務課長** 駅利用の高

校生の通学路でもあり防犯灯も未整備で、検討をしたい。



県道人吉・水上線(行き止まりの歩道)



◎公営住宅保証人のあり方は

連帯保証人に統一していく



榎山保議員

**榎山** 住宅入居の手続きについては、連帯保証人の連署する請書を提出しなければならぬとあるが、旧町村に於いては保証人、連帯保証人の請書が提出されている。保証人、連帯保証人の旧町村別と、保証人と連帯保証人の違いは。

**町長** 合併時点では旧町村の申請書の表現が異なっている。  
**環境整備課長** 連帯保証人の場合は、その人の債務、例えば家賃が滞納したときにかわって連帯ということに請求が

できる。保証人についてはその方が亡くなられたり、いなくなられた場合、債務について責任を負うことになっている。

旧免田地区は保証人、旧岡原は保証人、連帯保証人両方の対応がしてある。

**榎山** 保証

人の方を連帯保証人になってもらうことはできるのか。

**環境整備課**

**長** 入居者の継承、親から子供さんへの継承、保証人の死亡、建て替え工事の理

由による住宅の移転については保証人の変更をとっている。

**榎山** ある団地内において夏場非常に草が生い茂ってマムシも出ると聞いている。団地内は団地で美化作業をやってもらうように指導できないか。

**環境整備課長** その団地で誰か管理人になっていただけないかという相談はしている。



草が茂っている内山住宅団地

◎町産業振興に向けた各団体との連携強化は。

さらに連携を深める努力をしていきたい



小見田和行議員

支援協議会を立ち上げ新たな事業を計画している。しかし、その様な声があれば、もっと連携強化策をとりたい。

**小見田** 役場組織再編

**小見田** 町の総生産もしほみ続け、仕事も少なく、あさぎり町も負の連鎖に陥っている現状かと思われる。不況脱出に特効薬は無いとしても、町の総力をもってビジョンを明確に示し、組織の連携を強め集中的施策が効果的と思う。それが町の責務と考える。しかし、町内の団体のなかから町の振興策について連携不足でその成果に疑問をもたれている。町長の考えは。



あさぎり町商工会

計画があるが、産業活性化に向け、若い職員の発想も活かせる課を横断したプロジェクトチーム編成の考えは。

**町長** 三十〜四十代前後の人達の戦力をうまく活用することは大事なことです。すでに検討している。

◎役場組織の活性化を

縦と横の連携プレーで機能していく



愛甲利孝議員

**愛甲** 役場の組織・機構

については、常に見直しをしていかなければならないといわれているが、町長は、この組織・機構の改革をどのように実施していこうとしているか。

**町長** 課の組織が一つ一つ役割を担って動いていく組織にする必要がある。それと町の大きな課題については、課の横断的な取り組みをしていきたい。

◎町民と役場との関係は

**愛甲** 町民の目からみて、「役場が遠くなった」という声をよくきく。また、同様に執行機関と議会との関係も、離れすぎ

ていないだろうか。町長はこれらをどう認識し、どのように対応しようとしているか。

**町長** 物理的な距離は遠くなっているが、逆に役場は行きやすくなったという声が私には聞



役場の執務状況

こえてくる。

議会との関係では、今回、月に一回定例議員懇談会を設定していただき有難いと思っている。

◎町政座談会のあり方は

整備し話しあっていく



皆越てる子議員

◎町政座談会について

**皆越** 町政座談会が、十日間十一会場で開催

されましたが出席人数が少ない様に感じましたが、何名の出席であったのか。

**町長** 四九八名の参加者でした。私は一生懸命、広報紙でも町内の広報無線でも案内させて頂きました。地区によっては寂しい座談会であったということで反省している。

**皆越** 職員に対し参加人数の確保はしていな

かったのか。

**町長** 職員への参加動員はしていません。関心を持って来ていただけるということを期待してやったところである。

町長の言葉が町民に浸透するのも座談会だと考えますので、今後の方針についてはどうか。

**町長** 課長、また次の課



狩所公民館での座談会

長とも引継ぎを含めて、もう少し整備していきたいと思う。

『その他の質問』  
※給食センター納入業者選定について





◎空き家情報と活用対策を

Ⅲ 空家の情報を集める必要はあるんじゃないか



奥田 公人 議員

いる。

**奥田** 町内建設工事における項目別評定点制度採用について。

建設業者について

**奥田** 空家の情報を整理して、町である程度管理される計画はないのかお尋ねする。

ては、公平公

正に行われる

べきと考える

が、工事が安

価で丁寧に行

われることが

一番である

と思う。そ

こで、

国の補助事業

等で行われて

いる様な項目

別評定点制度

をあさぎり町

ではないかなと思っ

でも採用される計画はないか伺う。

**環境整備課長** あさぎ

り町で発注している建

設工事については竣工

検査時に工事成績採

表を作成し、検査項目

として施工体制、施工

状況

出来がた及び品質、出

来がたの四項目で採

点を行っている。工

事成績は、施工業者

に示していない。



空き家

町の新しい風

あさぎり

山の幸興社

山の幸で町おこしを

平成二十一年から二十三年までの三年間で熊本県ふるさと雇用再生特別基金事業で雇用促進の事業が上地区堀之角に展開されています。

事業は椎茸栽培を主に榎の苗木、ぜんまい等あさぎり町内で調



椎茸駒打ち作業



さかき 榎の育苗

達できるさまざまな山の原材料を元に「あさぎり山の幸興社」として新しい会社が立ち上がりました。

雇用創出のため新規に失業者等六名を雇用しました。

今年の秋には初めての椎茸が収穫できる予定であります。



# 議会活動



旧上中央公民館（現議会棟）

**●総務・文教常任委員会**  
議会改革の一つとして、議会と本庁舎が離れている不便を解消するため、光ファイバー整備工事の前に、議会議事堂および議会事務局の本庁舎への移転ができないか調査した。  
これは、町村合併前の「吉井体育センターや上中央公民館」を、早く元の姿に戻して欲しいという町民の声が大きいためでもある。  
役場本庁舎の北側2階のベランダや、周辺には個人所有の土地ではあるが、増設も可能と思われ、委員会では対応を要望した。

## 常任委員会報告

### ●厚生常任委員会

十一月二十四日、本庁舎において町民課・税務課及び財務担当職員から国民健康保険の財政健全化対策への検討項目の素案

- (一)医療費適正化対策
- (二)財源対策
- (三)予防医療・介護予防・健康づくり対策
- (四)広報啓発対策のうち、財源対策として
- ①国保財政調整基金と一般会計繰り入れ
- ②税率の見直し
- ③税収納率の向上
- ④特定財源の見直しについて説明を受けた。



### ●建設・経済常任委員会

十一月二十日（金）

①あさぎり駅前開発基本設計の内容調査  
店舗兼住宅用地予定地の残地について、無駄が出ない様、配慮の必要性がある。

②地域活性化、経済危機対策事業の進捗状況調査。



駅前整備予定地

# 一部事務組合議会報告

## ●球磨郡公立多良木病院組合議会

第四回臨時会は十一月二日に召集され会期一日で開催、補正予算専決分一件、増改築工事変更契約一件を審議、上球磨地域包括支援センター事業のなかで緊急雇用創出基金事業による増額補正、又増改築工事請負変更契約の締結について原案どおり可決。

第五回臨時会は十一月三十日に召集、熊本県市町村総合事務組合の変更と人事院が勧告した給与条例改正で原案通り可決。



公立多良木病院

## ●人吉球磨広域行政組合議会

第五回臨時会が九月二十九日に開催され、公立多良木病院に貸し付けている検診車の更新について、年度内執行が不可能となり（架装工場受注増の為、期日内納品出来ない）繰越明許費とする説明があり、検診車購入と併せ原案どおり可決。

第六回定例会が十一月二十四日に開催され、特別会計を含む4件の歳入歳出決算認定について原案どおり可決。



検診車

## ●上球磨消防組合議会

期日 平成二十一年十一月二十八日(土)  
 主要内容

承認第二号、専決処分の承認について。（救助工作車整備事業の繰越明許費について）

本年度、救助工作車の老朽化に伴い

更新する予定だったのが、工作車の製作及び装備等に時間を要し、年度内の予算執行ができないため、翌年度へ繰り越すものである。  
 平成二十年度一般会計歳入歳出決算認定について。  
 歳入六億九百九十九万八千六百二十九円、歳出五億九千三百五十七万八千七百六十四円、翌年度繰越千六百四十一万九千八百六十五円。原案通り可決。



救助工作車

## 一般質問

小見田和行議員の質問  
 要旨

消防本部の広域化と公平な消防サービスについて

救急時の現場到着時間の短縮についての取り組み方、また、現在協議がなされている県下消防組合の四ブロック化について執行部の考え方を質した。

## ●川辺川総合土地改良事業組合議会

平成二十一年第三回定例会が十一月二十四日に開催、議案二件、提案され可決された。報告の中で十一月九日から十三日まで、農水省新案の下流水利権者である相良村土地改良区の同意に向けて相良村土地改良区組合員に対する意見交換会を実施した。今後は、各組合員を訪問し、アンケート調査をする。この結果を踏まえて、協議をしたいとのことであった。



水を待つ果樹農家



## あさぎり町中学校開校 準備調査特別委員会報告

期間中、二回の委員会を開催した。

あさぎり中学校開校に向けた施設整備に関する調査が主な内容である。

あさぎり中学校生徒が母校として、自信と誇りの持てる教育環境をいかにして実現するか、を最も重要な課題として取り組んでいる。

統合に関する事前説明からすると現段階での計画は、事業量・事業費ともに増加している。町の健全財政維持を基本としながら、町民に納得していただける方向付けが出来るよう、議論を重ねている。



あさぎり町立上中学校正門

## 上球磨議員研修会



平成二十一年十一月十八日に水上村岩野「岩野公民館」に於いて、水上村、湯前町、多良木町、あさぎり町の各議会議員が一堂に会して、「議会人が知っておきたい危機管理術」を演題に、市町村アカデミー客員教授、大塚康男氏に講話いただきました。終了後、意見交換に入り、公職選挙法の兼業の禁止等について質問がありました。

大変有意義な研修となりました。

## 町村議会広報研修会



議会広報研修会が平成二十一年十一月五日(木)に自治会館にて開催され、広報委員六名が参加。

研修①「発想は足元にあり〜地域づくりと人づくり」を演題に、熊日NIE推進室長越地真一郎氏に講話いただきました。

研修②「チャレンジ、新時代の議会広報」をテーマにパネルディスカッションを行いました。

議会広報のあり方を掘り下げて考える機会を得る事ができました。

### 議会ひとくち

メモ (6)

**問** 議決権とはどんな事ですか。

**答** 議決とは議会の意思決定です。

議決を必要とする事項を議決案件といい、町長から提出される議案など町政を進める上で重要な条例の制定、改廃、予算の決定、決算の認定、契約の締結、財産の取得処分、人事案件(副町長、監査委員、教育委員)などの選任同意等を議会の会議で決定することを議決といい、これらを決定する権限を議決権といいます。

町

民

の

声

# 人と人のつながりを



深田 田山るり子

「人は出会いによって大きく人生を変える」と聞きますが、考え方に共感できる人に出会うと自分の視野が広がり夢がもてます。

十数年前、講演会で出会ったのが長野県の当時病院長だった鎌田實先生でした。

## 駅前交差点整備事業に思う



平成十七年 県の駅前交差点改良計画が発表されました。

私は、町の活性化のチャンスと思い、心踊らせたものでした。商工会でも、百年に一度のチャンスと受け止め、委員会を立ち上げ、毎週勉強会を数年にわたり行い、一生懸命練り上げた夢、駅前町づく

キーワードは「人と人とのネットワークづくり、身と心をつながり、人と自然のつながり」だったと思います。

人が豊かで満足な一生を送るには医療と保健と福祉の連携が不可欠であり、そこには必ず雇用が生まれ、地域活性化にも繋がるという事を実践をまじえて話され、地域づくりのことや地域医療の在り方を提案されたのです。

免田 蓑田 裕一

りの案を、町に提出したのでした。しかし町執行部には受け入れてもらえず、縮小案がだされました。将来の長寿社会の中で、高齢者の生活の便利を第一に考え、スローライフをテーマにした、町民が集える町づくり案は否定されませんでした。

私も、これからも微力ですが自分にやれることで地域活動に協力し参加していきたいと思っています。町に何かを望むなら、老後も安心して暮らせる地域になるように、人が集まり将来の夢でも話せるところ「町民の広場」的な空間があればいいと思います。

## 編集後記

平成二十二年の新春を迎え御慶び申し上げます。昨年は国の内外に新しい風を感じさせる動きがありました。あざぎり町においても中学校統合が具体化し開校に向けての議論が活発化してきました。

さて今年「庚寅」にあたります。「庚寅」の年は新しい芽吹きが感じられる年回りと一説にはあります。今は地方の時代へ移行しようとする時なのか、昨年三月議会に於いては議会改革調査特別委員会も設置され、協議が重ねられているところです。

このような時期、広報委員会では気を引きしめて議会のできごとを具体性を持たせ読み易くお知らせしていきたいと思えます。よろしくお願いたします。(免田)

### 編集・発行責任者

議長 橋爪 和彦

### 広報調査特別委員会

- 委員長 淵田 勇一
- 副委員長 愛甲 利孝
- 委員 皆越てる子
- 委員 山口 和幸
- 委員 緒方 勇二
- 委員 永井 英治